

卒業目標マトリックス	基礎医学(1)									
	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅰ実習	解剖学Ⅱ・解剖学Ⅱ実習	生化学	生理学	寄生虫学・免疫学／寄生虫学実習・免疫学実習	細胞学・細胞学実習	ウイルス学・ウイルス学実習	基礎医学統合実習		
卒業時コンピテンシ・コンピテンシー(卒業時アウトカム)										
1. 倫理とプロフェッショナリズム										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。										
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	2	2	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	*	2	*	*	*	*	*	*	*	*
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	2	2	*	*	*	*	*	*	*	*
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをするすることができる。	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2
2. コミュニケーション										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。										
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2
3. 医学知識										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。										
1) 正常構造・機能	1	1	1	1	1	*	*	*	2	
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
3) 心理、行動	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
4) 疾病の機序と病態	*	*	1	*	1	1	1	1	*	*
5) 診断、治療	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
6) 医療安全、感染対策	*	*	*	*	*	1	1	1	*	*
7) 疫学、予防	*	*	*	*	*	1	1	1	*	*
8) 保健・医療・福祉・介護制度	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
9) 医療経済・政策・保険診療	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
4. 医療の実践										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を臓器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。										
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備ができています。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適切に対応できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	*	*	*	*	1	1	1	1	*	*
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
5. 医療の社会性・社会への貢献										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。										
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
6. 科学的探究力・研究力										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。										
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	1	1	*	*	1	1	1	1	1	1
7. 国際的能力										
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。										
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

レベル3：研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2：応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1：基礎となる知識・技能・態度がある
*：該当しない

卒業目標マトリックス	基礎医学(2)		
	病理学Ⅰ・病理学Ⅰ実習	病理学Ⅱ・病理学Ⅱ実習	薬理学
卒業時コンピテンシ・コンピテンシー(卒業時アウトカム)			
1. 倫理とプロフェッショナリズム			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。			
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	2	2	1
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	2	2	1
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	*	*	*
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをすることができる。	2	2	1
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	1	1	1
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあつて共に、後進の育成に努めることができる。	1	1	1
2. コミュニケーション			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。			
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	*	*	*
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	2	2	1
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	1	1	1
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	2	2	1
3. 医学知識			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。			
1) 正常構造・機能	1	1	1
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	1	1	1
3) 心理、行動	*	*	*
4) 疾病の機序と病態	1	1	1
5) 診断、治療	1	1	1
6) 医療安全、感染対策	*	*	*
7) 疫学、予防	*	*	*
8) 保健・医療・福祉・介護制度	*	*	*
9) 医療経済・政策・保険診療	*	*	1
4. 医療の実践			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を機器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。			
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	*	*	*
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	*	*	*
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	1	1	*
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	*	*	*
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	1	1	1
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	*	*	*
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協同意思決定を実践する準備ができていいる。	*	*	*
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適應できる。	*	*	2
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	*	*	*
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	*	*	2
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができていいる。	*	*	*
5. 医療の社会性・社会への貢献			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができていいる。			
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	*	*	*
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	*	*	*
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができていいる。	*	*	*
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができていいる。	*	*	*
6. 科学的探究力・研究力			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。			
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	2	2	1
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	1	1	1
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	2	2	1
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*	*	*
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	1	1	1
7. 国際的能力			
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立つて医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができていいる。			
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	*	*	*
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	*	*	*
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	1	1	1

レベル3 : 研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2 : 応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1 : 基礎となる知識・技能・態度がある
* : 該当しない

卒業目標マトリックス	社会医学				
	予防医学	公衆衛生学	法医学	遺伝情報医学	社会医学実習
卒業時コンピテンシ・コンピテンシー(卒業時アウトカム)					
1. 倫理とプロフェッショナリズム					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。					
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	1	1	1	1	2
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	1	1	1	1	2
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	1	1	1	1	2
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いを行うことができる。	1	1	1	1	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	1	1	1	1	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	1	1	1	1	2
2. コミュニケーション					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。					
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	1	1	1	1	2
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	1	1	1	1	2
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	1	1	1	1	2
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	1	1	1	1	2
3. 医学知識					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。					
1) 正常構造・機能	1	1	1	1	1
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	1	1	1	1	1
3) 心理、行動	1	1	1	1	1
4) 疾病の機序と病態	1	1	1	1	1
5) 診断、治療	1	1	1	1	1
6) 医療安全、感染対策	1	1	1	*	1
7) 疫学、予防	1	1	1	1	2
8) 保健・医療・福祉・介護制度	1	1	1	1	2
9) 医療経済・政策・保険診療	1	1	1	1	2
4. 医療の実践					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を臓器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。					
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	1	1	1	1	1
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	*	*	*	*	*
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	*	*	*	*	*
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	*	*	*	1	*
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	1	1	1	1	2
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	*	*	*	*	1
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備ができています。	1	1	*	1	2
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適応できる。	1	1	1	1	2
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	1	1	*	*	
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	1	1	1	1	2
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	1	1	1	1	2
5. 医療の社会性・社会への貢献					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。					
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	1	1	1	1	2
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	1	1	*	1	2
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	*	1	1	*	2
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	1	1	*	1	2
6. 科学的探究力・研究力					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。					
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	1	1	1	1	2
2) 未知・未解決の医学的問題を探求し、その解決に取り組むことができる。	1	1	1	1	2
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	1	1	1	1	2
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	1	1	*	1	2
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	1	1	1	1	2
7. 国際的能力					
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。					
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	1	1	*	*	1
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	1	1	1	1	1
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	1	1	1	1	1

レベル3 : 研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2 : 応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1 : 基盤となる知識・技能・態度がある
* : 該当しない

卒業目標マトリックス	医学研究実習
卒業時コンピテンシス・コンピテンシー(卒業時アウトカム)	医学研究実習
1. 倫理とプロフェッショナリズム	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。	
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	2
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	2
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	2
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをするができる。	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	2
2. コミュニケーション	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。	
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	1
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	2
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	2
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	2
3. 医学知識	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。	
1) 正常構造・機能	2
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	2
3) 心理、行動	2
4) 疾病の機序と病態	2
5) 診断、治療	2
6) 医療安全、感染対策	2
7) 疫学、予防	2
8) 保健・医療・福祉・介護制度	2
9) 医療経済・政策・保険診療	2
4. 医療の実践	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を踏襲横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。	
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	*
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	*
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	*
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	*
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	*
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	*
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協同意識決定を実践する準備ができています。	*
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適應できる。	*
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	*
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	*
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	*
5. 医療の社会性・社会への貢献	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。	
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	2
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	2
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	*
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	*
6. 科学的探究力・研究力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。	
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	3
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	3
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	3
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	3
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	3
7. 国際的能力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。	
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	2
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	2
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	2

レベル3：研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2：応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1：基礎となる知識・技能・態度がある
*：該当しない

卒業目標マトリックス	系統別病態診断												
	臨床医学入門コース	循環器コース	呼吸器コース	アレルギー・自己免疫コース	消化器コース	内分泌・代謝コース	血液コース	腎・尿路・男性生殖器コース	神経・精神・行動コース	運動器コース	周産期・小児・女性生殖器コース	皮膚・感覚器コース	
卒業時コンピテンシ・コンピテンシー(卒業時アウトカム)													
1. 倫理とプロフェッショナリズム													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。													
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをする事ができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあい学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2. コミュニケーション													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。													
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3. 医学知識													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。													
1) 正常構造・機能	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3) 心理、行動	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 疾病の機序と病態	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5) 診断、治療	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6) 医療安全、感染対策	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7) 疫学、予防	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
8) 保健・医療・福祉・介護制度	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
9) 医療経済・政策・保険診療	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4. 医療の実践													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を臓器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。													
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備がきている。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適応できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備がきている。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5. 医療の社会性・社会への貢献													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。													
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6. 科学的探究力・研究力													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。													
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
2) 未知・未解決の医学的問題を探求し、その解決に取り組むことができる。	*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
7. 国際的能力													
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。													
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

レベル3 : 研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2 : 応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1 : 基礎となる知識・技能・態度がある

卒業目標マトリックス	医学英語
卒業時コンピテンシス・コンピテンシー(卒業時アウトカム)	医学英語
1. 倫理とプロフェッショナリズム	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。	
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	*
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	*
3) 人間の多様性に配慮し、尊敬を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	*
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いを行うことができる。	*
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	1
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	1
2. コミュニケーション	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。	
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	1
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	1
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	1
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	1
3. 医学知識	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。	
1) 正常構造・機能	*
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	*
3) 心理、行動	*
4) 疾病の機序と病態	*
5) 診断、治療	*
6) 医療安全、感染対策	*
7) 疫学、予防	*
8) 保健・医療・福祉・介護制度	1
9) 医療経済・政策・保険診療	1
4. 医療の実践	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を論議横断的なびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。	
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	1
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	*
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	*
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	*
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	*
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	*
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協同意思決定を実践する準備ができています。	*
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに适应できる。	*
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	*
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	*
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	*
5. 医療の社会性・社会への貢献	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。	
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	*
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	*
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	*
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	*
6. 科学的探究力・研究力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。	
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	*
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	*
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	*
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	*
7. 国際的能力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。	
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	2
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	2
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	2

レベル3 : 研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2 : 応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1 : 基礎となる知識・技能・態度がある
* : 該当しない

卒業目標マトリックス	臨床実習入門
卒業時コンピテンシ・コンピテンシー(卒業時アウトカム)	臨床実習入門
1. 倫理とプロフェッショナリズム	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。	
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	2
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	2
3) 人間の多様性に配慮し、尊敬を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	2
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをする事ができる。	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあい学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	2
2. コミュニケーション	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。	
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	2
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	2
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	2
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	2
3. 医学知識	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。	
1) 正常構造・機能	2
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	2
3) 心理、行動	2
4) 疾病の機序と病態	2
5) 診断、治療	2
6) 医療安全、感染対策	2
7) 疫学、予防	2
8) 保健・医療・福祉・介護制度	2
9) 医療経済・政策・保険診療	2
4. 医療の実践	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を機器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。	
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	2
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	2
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	2
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	2
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	2
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	2
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備ができてい	2
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適切できる。	2
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	2
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	2
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができてい	2
5. 医療の社会性・社会への貢献	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができてい	
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	2
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	2
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができてい	2
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができてい	2
6. 科学的探究力・研究力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。	
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	*
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	*
3) 仮説の立案と科学的的手法を用いた検証を実践できる。	*
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	*
7. 国際的能力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができてい	
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	2
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	2
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	*

レベル3：研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2：応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1：基礎となる知識・技能・態度がある
*：該当しない

卒業目標マトリックス	診療参加型臨床実習Ⅱ								
	内科学	外科学	小児科学	産科婦人科学	精神科学	総合診療医学・家庭医療学	救急医学	選択	
卒業時コンピテンシス・コンピテンシー（卒業時アウトカム）									
1. 倫理とプロフェッショナリズム									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。									
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじ、誠意ある行動をとることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをするすることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6) 同僚や関係者間で互いに教えあひ学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2. コミュニケーション									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。									
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3. 医学知識									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。									
1) 正常構造・機能	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 心理、行動	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 疾病の機序と病態	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5) 診断、治療	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6) 医療安全、感染対策	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7) 疫学、予防	3	3	3	3	3	3	3	3	3
8) 保健・医療・福祉・介護制度	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9) 医療経済・政策・保険診療	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4. 医療の実践									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を臓器横断的なびびり心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。									
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を探索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備ができています。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適切に対応できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5. 医療の社会性・社会への貢献									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。									
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6. 科学的探究力・研究力									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。									
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7. 国際的能力									
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。									
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3) 英語等を用いて、様々な情報の手入・理解・発信ができる。	3	3	3	3	3	3	3	3	3

レベル3：研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2：応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1：基盤となる知識・技能・態度がある
*：該当しない

卒業目標マトリックス	重点セミナー
卒業時コンピテンス・コンピテンシー(卒業時アウトカム)	重点セミナー
1. 倫理とプロフェッショナリズム	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 医師として相応しい倫理観、価値観を持ち、法令を遵守して行動できる。自己省察を重ねて能力・態度を継続的に改善することができる。	
1) 医の倫理と生命倫理を理解した上で、それに基づき考え行動できる。	2
2) 守秘義務をはじめ、法・規範を遵守できる。	2
3) 人間の多様性に配慮し、尊厳を重んじて、誠意ある行動をとることができる。	2
4) 医師としてふさわしい身なりと振る舞いをすることができる。	2
5) 自己の知識・技能・態度を恒常的に評価し、継続的に改善することができる。	2
6) 同僚や関係者間で互いに教えあい学びあうと共に、後進の育成に努めることができる。	2
2. コミュニケーション	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 自分自身の役割を理解した上で、他者と良好なコミュニケーションをとることができる。	
1) 共感的態度に基づいた傾聴と対話によって、患者、家族の立場や多様性を尊重した良好なコミュニケーションをとることができる。	2
2) 同僚や他の医療従事者の役割を理解してお互いに信頼関係を築くことができる。	*
3) 情報通信技術を活用したコミュニケーションをとることができる。	*
4) 継続的なコミュニケーションにより、人間関係を深めることができる。	2
3. 医学知識	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 診療や研究の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学などに関連する以下の領域の知識を修得し、応用することができる。	
1) 正常構造・機能	2
2) 遺伝、発達、成長、加齢、死	2
3) 心理、行動	2
4) 疾病の機序と病態	2
5) 診断、治療	2
6) 医療安全、感染対策	2
7) 疫学、予防	2
8) 保健・医療・福祉・介護制度	2
9) 医療経済・政策・保険診療	2
4. 医療の実践	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 患者の抱える問題を機器横断的ならびに心理・社会的視点で全人的に捉えた上で、効果的で適切・安全な患者中心の医療を実践できる。	
1) 診療に必要な患者の医学的および心理社会的情報を系統的かつ適切に聴取できる。	2
2) 基本的な身体診察・臨床手技や心肺蘇生等の緊急処置を適切に実施できる。	2
3) 主要な検査所見、画像所見の解釈ができる。	2
4) 得られた情報をもとに臨床推論を行い、診断・治療の計画を立案できる。	2
5) 論文や電子リソース、人工知能等を用いて関連情報を検索し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。	2
6) 適切な診療記録の作成・管理とプレゼンテーションを行うことができる。	2
7) インフォームド・コンセントを理解し、診療方針決定に関して患者と医療者による協働意思決定を実践する準備ができています。	2
8) 患者・家族の心理や行動変容に関する知識・技能を修得し、患者の療養やケアに適切にできる。	2
9) 医療安全と感染対策を実践できる。	2
10) お互いの信頼に基づいたチーム医療を実践できる。	2
11) 医療の質について、常に振り返り、その改善を図る準備ができています。	2
5. 医療の社会性・社会への貢献	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 地域の特性やニーズを理解するとともに、経済的視点を持ちながら適正な医療の提供と公衆衛生の向上に努め、社会に貢献する準備ができています。	
1) 社会・地域における医療の問題を理解し、保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力して、その解決に積極的に参加するとともに、情報を発信することができる。	2
2) 疾病予防と健康増進について理解・実践できる。	2
3) 災害時における医師の役割を理解し、実践する準備ができています。	2
4) 保険診療制度の意義とそれぞれの保険医療機関の役割を理解し、医療の経済性に配慮しながら診療を行う準備ができています。	2
6. 科学的探究力・研究力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 基礎、臨床、社会医学領域に関する研究のプロセスを理解し、医学研究を実践できる。さらに、得られた結果を科学的に考察し、発信することで医学の発展に寄与することができる。	
1) 研究倫理を理解し、実践できる。	*
2) 未知・未解決の医学的問題を探索し、その解決に取り組むことができる。	*
3) 仮説の立案と科学的手法を用いた検証を実践できる。	*
4) 人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、適切な統計手法の選択と解析を実践できる。	*
5) 批判的・論理的思考に基づいて、プレゼンテーションや論文作成を行うことができる。	*
7. 国際的能力	
徳島大学医学部医学科の学生は、卒業時に、 国際的視野に立って医学・医療の現状を理解できる。適切な語学力を修得し、国際的な医療を実践する準備ができています。	
1) 臨床・研究・社会等の場面で、国際的視野に立ったコミュニケーションを実践できる。	*
2) 文化的・社会的・宗教的な多様性に配慮して行動ができる。	*
3) 英語等を用いて、様々な情報の入手・理解・発信ができる。	*

レベル3：研究あるいは臨床の現場で実践できる
レベル2：応用できる知識がある・シミュレーションできる
レベル1：基礎となる知識・技能・態度がある
*：該当しない